

**JP59040270U****Patent number:** JP59040270U**Publication date:** 1984-03-14**Inventor:****Applicant:****Classification:****- international:** (IPC1-7): B66B3/00; B66B1/16; B66B3/00; B66B11/02;  
B66B1/16; B66B11/02**- european:****Application number:** JP19820137075U 19820909**Priority number(s):** JP19820137075U 19820909**Report a data error here**

Abstract not available for JP59040270U

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑤ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑧ 公開実用新案公報 (U)

昭59—40270

⑨ Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 昭和59年(1984)3月14日

B 66 B 3/00

7376—3F

1/16

7831—3F

11/02

C 7502—3F

審査請求 未請求

(全 2 頁)

④ エレベータかご呼び応答表示装置

羽曳野市羽曳ガ丘四丁目20—24

⑦ 実 願 昭57—137075

② 考 案 者 市岡洋一

⑦ 出 願 昭57(1982)9月9日

稲沢市菱町1番地三菱電機株式  
会社稲沢製作所内

⑦ 考 案 者 友松幸彦

② 考 案 者 渡辺深

神戸市東灘区鴨子ヶ原三丁目17  
番21号大阪市北区梅田二丁目3番24号  
三菱電機株式会社関西支社内

⑦ 考 案 者 丁子行彦

⑦ 出 願 人 株式会社竹中工務店

池田市伏尾台一丁目38番地の8

大阪市東区本町4丁目27番地

⑦ 考 案 者 中林満

⑦ 出 願 人 三菱電機株式会社

奈良県北葛城郡上牧町片岡台三  
丁目44—303東京都千代田区丸の内2丁目2  
番3号

⑦ 考 案 者 東郷滋

⑦ 代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

⑥ 実用新案登録請求の範囲

図面の簡単な説明

かご内に設けられて0.1～9の各ボタンによ  
って構成され操作されてかご呼びを登録するかご  
ボタン、上記かご内に設けられて上記かごボタ  
ンの操作によるかご呼びを表示しかつ上記かごの定  
員数と同じ数の表示部を有する表示装置を備えた  
エレベータかご呼び応答表示装置。

第1図は従来のエレベータかご呼び応答表示装  
置を示すエレベータかごの縦断正面図、第2図は  
第1図の操作盤の拡大図、第3図はこの考案によ  
るエレベータかご呼び応答表示装置の一実施例を  
示す第2図相当図である。

1…かご、3…かごボタン、6…表示装置、6  
'…表示部。なお、図中同一部分または相当部分  
は同一符号により示す。

- 177 -

JP,59-040270,U

● STANDARD ● ZOOM-UP ROTATION No Rotation ☐ REVERSAL

RELOAD

PREVIOUS PAGE

NEXT PAGE

BEST AVAILABLE COPY

No. 61.11.25

第2部門(7) 実用新案法第55条第2項にお (昭和61年11月25日発行)  
いて準用する特許法第17条の  
2の規定による補正の掲載

昭和57年実願第103508号(実開昭59-8973号、昭和59年1月20日発行公開実用  
新案公報59-90号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2  
の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int. Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号
B 66 B 5/00		8110-3 F
13/14		6694-3 F

## 記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

①実用新案登録請求の範囲

かご内に乗り込んだ乗客の操作で防犯運転を指令する指令手段、上記かごの戸開閉動作を制御する戸  
開閉手段を有し、上記防犯運転指令手段を操作すると同時に上記戸開閉手段により上記かごの戸閉めを  
行い、上記により戸閉め動作中、上記防犯運転指令手段の操作を中断すると上記戸開閉手段により上記  
かごの戸を開くようにしたことを特徴とするエレベータの防犯運転装置。

2 図面の簡単な説明を次のように補正する。

明細書第10頁13行目に「3a, 3b……起動リレー接点、」とあるのを「3a, 3b……起動指  
令リレー接点、」と補正する。

昭和57年実願第137075号(実開昭59-40270号、昭和59年3月14日発行公開実用  
新案公報59-403号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条  
の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int. Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号
B 66 B 3/00		7828-3 F
1/16		8110-3 F
11/02		C-6694-3 F

## 記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

①実用新案登録請求の範囲

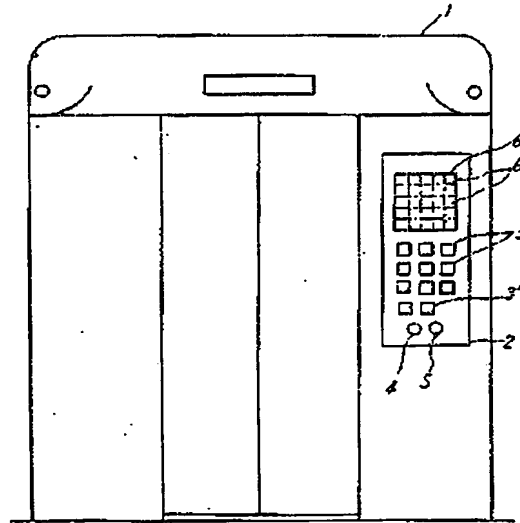
かご内に設けられて0,1~9の各ボタンによつて構成され操作されてかご呼びを登録するかごボタン、  
上記かご内に設けられて上記かごボタンの操作によるかご呼びを表示しかつ上記かごへの乗込みが許容  
される乗客数と同じ数の表示部を有する表示装置を備えたエレベータかご呼び応答表示装置。

(+)

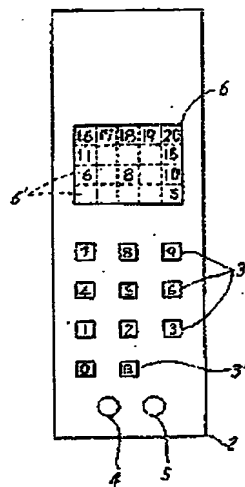
BEST AVAILABLE COPY

実開 昭59-40270(2)

第1図



第2図



第3図

